

別紙様式

「知」の集積による产学連携推進事業のうちバイオエコノミー推進人材活動支援事業に係る企画書

令和〇年〇月〇日

1 事業責任者（プロジェクトリーダー）の氏名、所属

(1) 氏名 〇〇 〇〇

(2) 所属 〇〇株式会社

(3) 所属する研究開発プラットフォーム (〇-〇) 〇〇〇〇プラットフォーム

※所属する研究開発プラットフォームがある場合は研究開発プラットフォーム名を記してください。

2 代表機関の住所、名称及び代表者

(1) 住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇県〇〇市・・・〇丁目〇番地〇号

(2) 名称 〇〇株式会社

(3) 代表者 代表取締役社長 〇〇 〇〇

3 担当者の連絡先

(1) 住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇県〇〇市・・・〇丁目〇番地〇号

(2) 所属 〇〇部

(3) 役職 〇〇課長

(4) 氏名 〇〇 〇〇

(5) TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(6) FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(7) E-mail 〇〇〇〇@〇〇.〇〇.〇〇

(8) 所属する研究開発プラットフォーム (〇-〇) 〇〇〇〇プラットフォーム

※代表機関が所属する研究開発プラットフォームがある場合は、研究開発プラットフォーム名を記してください。

4 共同事業体の名称及び構成員一覧（共同事業体の場合のみ記載）

(1) 名称 〇〇共同事業体

(2) 構成員 株式会社〇〇

〇〇県〇〇市・・・〇丁目〇番地〇号

〇〇株式会社

〇〇県〇〇市・・・〇丁目〇番地〇号

〇〇研究所

〇〇県〇〇市・・・〇丁目〇番地〇号

国立大学法人〇〇大学

〇〇県〇〇市・・・〇丁目〇番地〇号

※事業実施責任者（プロジェクトリーダー）を含め共同事業体の構成員全員を記してください。
共同事業体の場合の留意点等について、参考資料「共同事業体について」でご確認ください。

(注意事項)

原則として、A4タテで作成して下さい。また、ページ番号を付けて下さい。
青字は記入例で、赤字は注釈です。

目次

1	取り組む事業の項目	●
2	事業実施責任者（プロジェクトリーダー）	●
3	委託事業の内容	
	（1）国際連携、分野融合、組織間連携の構築及び推進（必須）	●
	① 取り組むテーマと内容	●
	② 実施計画	●
	③ 期待される効果	●
	（2）バイオとデジタルの融合を担える研究人材の育成（選択）	●
	① 取組内容と実施計画	●
	② 期待される効果	●
	（3）農林水産・食品分野の研究成果を活用した商品化・事業化モデルの構築（選択）	
	① 取組内容と実施計画	●
	② 期待される効果	●
	（4）商品化・事業化モデルを実現するための体制の構築（選択）	●
	① 取組内容と実施計画	●
	② 期待される効果	●
4	統合イノベーション戦略2020（令和2年7月17日閣議決定）」で示された地域バイオコミュニティの形成及び連携について（該当がある場合のみ記載）	●
5	農林水産省がグローバルな研究体制の構築として進めているアグリバイオ拠点との連携について（該当がある場合のみ記載）	●
6	委託事業の実施体制	●
	（1）事業実施責任者（プロジェクトリーダー）及び代表機関	●
	（2）事業実施責任者（プロジェクトリーダー）及びプロジェクトチームの氏名、所属及び役割分担、所属する研究開発プラットフォーム名	●
7	経費の配分	
	（1）事業の経費の見積額	●
	（2）令和〇年度の経費の見積額	●
8	ワーク・ライフ・バランス等の推進についての取組状況	
	（1）女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし認定企業、プラチナえるぼし認定企業）	●

1 取り組む事業の項目

事業の項目		取組の有無
必須	1 國際連携、分野融合、組織間連携の構築及び推進	
選択	2 バイオとデジタルの融合を担える研究人材の育成	
	3 農林水産・食品分野の研究成果を活用した商品化・事業化モデルの構築	
	4 商品化・事業化モデルを実現するための体制の構築	

※ 実施する項目に「○」を記載すること。

2 事業実施責任者（プロジェクトリーダー）

※事業実施責任者（プロジェクトリーダー）の業務を複数で分担する場合は関わる者すべての氏名、所属、役割・分担を記載してください。

氏名	所属	役割・権限
○○ ○○	○○株式会社○○ ○○部長	事業実施責任者（プロジェクトリーダー）
○○ ○○	○○株式会社○○ ○○部○○課長	プロジェクトチーム内の連絡調整、連携する研究開発プラットフォームとの窓口を担当
○○ ○○	○○大学○○ ○○	地方自治体、農業者団体の窓口、○○調査・試験を担当
○○ ○○	○○○○○	選択項目○○担当

※事業実施責任者（プロジェクトリーダー）及び当事業で活動費（人件費・謝金）の負担を予定する構成員は、略歴、実績、能力などを別添様式1に記載し、添付してください。

3 委託事業の内容

（1）国際連携、分野融合、組織間連携の構築及び推進（必須）

①取り組むテーマと内容

※「知」の集積と活用の場を活用し国際連携、分野融合、組織間連携の構築及び推進するため取り組むテーマと選定理由を記載してください。

テーマは、バイオエコノミーの推進に資するものとします。

ア) テーマ

イ) テーマの選定理由

ウ) 参画が想定される研究開発プラットフォーム

※研究開発プラットフォームの参画について事前の了承は不要ですが、了承を得ている場合はその旨を記載してください。

エ) 連携を図る組織（研究開発プラットフォーム以外）

※連携を図る組織について事前の了承は不要ですが、了承を得ている場合はその旨を記載してください。

② 実施計画

※どのような取組を行うのか記載するとともに、大まかなスケジュールの全体像（何を達成するために、いつまでに、どのように実践するか）を記載してください。

③ 期待される効果

※「知」の集積と活用の場を活用して、イノベーション創出しバイオエコノミーを推進するためには、研究開発プラットフォーム間の連携はもとより、海外を含め研究インフラやデータの共用化・ネットワーク化し研究力向上すること、金融、投資及び農業者団体等とも連携を強化していくことが重要であり、本事業での活動により、どのような効果が期待されるか具体的に記載してください。

注:以下は選択した事業の項目に記載してください。選択していない事業は、「-」を記載ください。

(2) バイオとデジタルの融合を担える研究人材の育成（選択）

① 取組内容と実施計画

※バイオエコノミーを推進するためには、バイオ×デジタルの融合により、生命現象を理解し、生物機能を最大限活用できる人材の育成、確保が重要となっている。「知」の集積と活用の場の産学官連携協議会の会員を主な対象にバイオとデジタルの融合を担える研究人材の育成・確保ために取り組む内容と大まかなスケジュールの全体像（何を達成するために、いつまでに、どのように実践するか）を記載してください。

② 期待される効果

※本事業での活動により、どのような効果が期待されるか具体的（育成する人材の人数、習得する技術等）に記載して下さい。

(3) 農林水産・食品分野の研究成果を活用した商品化・事業化モデルの構築（選択）

① 取組内容と実施計画

※研究開発プラットフォームから上市が期待される商品、技術等に関する市場調査、概念実証又は提案を具体的に記載ください。提案内容は科学的及び技術的に実現が可能かについての調査・実証を十分に実施した上で、具体的な内容としてください。但し研究要素を含む調査及び試験は対象となりません。

② 期待される効果

※研究成果を活用した商品化・事業化モデルの構築のために必要なノウハウの蓄積、ニーズの把握とニーズに合わせた商品、技術のカスタマイズへの取組の促進など①の取組により期待される効果を記載してください。

(4) 商品化・事業化モデルを実現するための体制の構築（選択）

① 取組内容と実施計画

※著しい成長が期待されるバイオエコノミー市場への参入を実現するための体制の構築について、具体的な取組内容を記載してください。

② 期待される効果

※本事業によりどのような体制を構築するか、事業終了後に目指すべき体制についても具体的に記載して下さい。

4 統合イノベーション戦略 2020（令和2年7月17日閣議決定）」で示された地域バイオコミュニティの形成及び連携について（該当がある場合のみ記載）

※本事業での取組が、地域バイオコミュニティの形成及び連携に関わるものである場合、どのように関わっているのか記載してください。

5 農林水産省がグローバルな研究体制の構築として進めているアグリバイオ拠点との連携について（該当がある場合のみ記載）

※本事業での取組が、アグリバイオ拠点と連携若しくは連携を予定している場合、どのように連携しているのかまたは連携するのかを記載してください。

6 委託事業の実施体制

(1) 事業実施責任者（プロジェクトリーダー）及び代表機関

① 事業実施責任者

事業実施者

(ふりがな) じぎょう たろう
(氏名) 事業 太郎
(所属) ○○大学○○部○○学科
(役職) ○○准教授
(E-mail) ○○○○@○○.○○.○○
(TEL) ○○-○○○○-○○○○
(FAX) ○○-○○○○-○○○○

② 代表機関

(法人名) ○○株式会社
(住所) ○○県○○市・・・○丁目○番地○号

経理責任者

(ふりがな) じぎょう はなこ
(氏名) 事業 花子
(所属) ○○部

(役 職) *〇〇課長*
(T E L) *〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇*
(F A X) *〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇*

※事業実施責任者と経理責任者は、原則として兼務できません。

③ 共同事業実施者 *(共同事業体の場合のみ記載)*
(法 人 名) *〇〇株式会社*

事業実施者
(ふりがな) *じぎょう じろう*
(氏 名) *事業 次郎*
(所 属) *〇〇部*
(役 職) *〇〇課長*
(T E L) *〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇*
(F A X) *〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇*

経理責任者
(ふりがな) *じぎょう はなこ*
(氏 名) *事業 花子*
(所 属) *〇〇部*
(役 職) *〇〇課長*
(T E L) *〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇*
(F A X) *〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇*

※全ての共同事業実施者について事業実施者及び経理責任者を記載してください。
事業実施者と経理責任者は、原則として兼務できません。

(2) 事業実施責任者（プロジェクトリーダー）及びプロジェクトチームの氏名、所属及び役割分担、所属する研究開発プラットフォーム名

氏名	所属	役割分担 (簡潔に)	所属する研究開発プラットフォーム（該当のある場合は記載）
OO OO	OO株式会社OO OO部長	事業実施責任者 (プロジェクトリーダー)、全体総括	OOOO研究開発 プラットフォーム
OO OO	OO株式会社OO OO部OO課長	プロデューサー	OOOO研究開発 プラットフォーム
OO OO	OO株式会社OO OO部OO課長	知的財産戦略策定 関係	OOOO研究開発 プラットフォーム
OO OO	OO株式会社OO OO部OO課長	研究開発プラット フォーム会員との 連絡調整	OOOO研究開発 プラットフォーム
OO OO	OO株式会社OO OO部OO課長	プロデューサー会 議資料作成・報告 会の開催	OOOO研究開発 プラットフォーム

※事業実施責任者（プロジェクトリーダー）及びプロジェクトチーム構成員を含む、当該委託事業で活動する者の氏名を必ず記入してください。

共同事業体の場合は、すべての共同事業実施者について記載してください。

事業実施責任者と当事業で活動費（人件費・謝金）を負担する予定のプロジェクトチームの構成員の略歴等を、別添様式2に記載し、添付してください。ただし、別添様式1で略歴等を記載した者は除きます。

7 経費の配分

(1) 事業の経費の見積額

※ 共同事業体の場合は、構成員単位の内訳も記入してください。

(単位：千円)

項目	事業の経費
1 国際連携、分野融合、組織間連携の構築及び推進	* , ***
2 バイオとデジタルの融合を担える研究人材の育成	* , ***
3 農林水産・食品分野の研究成果を活用した商品化・事業化モデルの構築	* , ***
4 商品化・事業化モデルを実現するための体制の構築	* , ***
合 計	* , ***

- (注) 1 消費税は、内税で計上してください。
 2 合計額は、8,000千円以内となるように計上してください。

(2) 令和〇年度の経費の見積額
 令和3年度の事業に必要な経費の見積額を記載してください。

区分	積算内訳 (単位: 円)
I 直接経費	* , ***, ***
1 人件費 (実績単価)	* , ***, ***
2 謝金	* , ***, ***
3 旅費	* , ***, ***
4 消耗品費	* , ***, ***
5 印刷製本費	***, ***
6 借料及び損料	***, ***
7 会議費	***, ***
8 雑役務費	***, ***
9 ○○費	***, ***
II 一般管理費	* , ***, ***
III 消費税等相当額	***, ***
総額	* , ***, ***

- (注) 1 人件費については、「委託事業における人件費の算定等の適正化について」に基づいて単価を算定し、計上してください。また、受託単価であるか、実績単価であるかを、区分欄に記してください。
 2 謝金及び旅費等の単価は、実施機関の規程等に基づき計上してください。
 3 謝金は直接個人に対して支払う必要があります。法人・団体に対して支払うことはできないのでご注意ください。
 4 設備備品費（5万円以上の物品）の計上は認められません。
 5 IIの一般管理費は、Iの直接経費の15%以内で計上してください。
 6 IIIの消費税等相当額は、I及びIIの経費のうち非課税取引、不課税取引及び免税取引にかかる経費（例：人件費など）の10%を計上してください。
 7 別記「各費目の区分表」を参照し、計上してください。
 8 この表とは別に、経費内訳書を提出してください。（詳細は応募要領の「6 提出書類」をご確認ください。）

8 ワーク・ライフ・バランス等の推進についての取組状況

(1) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定

(えるぼし認定企業、プラチナえるぼし認定企業)

認定を受けている場合は、認定段階を記載してください。

一般事業主行動計画の策定義務がない事業主（常時雇用する労働者の数が300人以下の者）であって、行動計画（計画期間が満了していない）を策定し且つ当該行動計画が労働時間等の働き方に係る基準を満たしている場合は、その旨を記入し、そのことが確認できる書類の写しを添付して下さい。

(2) 次世代育成支援対策推進法に基づく認定

(くるみん認定企業、プラチナくるみん認定企業)

認定を受けている場合は、認定区分を記載し、そのことが確認できる書類の写しを添付してください。

(3) 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定 (ユースエール認定)

認定を受けている場合は、その旨記載し、そのことが確認できる書類の写しを添付してください。

(別添様式1)

事業実施責任者（プロジェクトリーダー）略歴等

(氏名)	(所属)
	(所属している研究開発プラットフォーム)
(略歴)	
(実績、能力)	
<p>(「知」の集積と活用の場及び研究開発プラットフォームでの活動実績) ※研究開発プラットフォームのプロデューサー、構成員となっている場合は記載してください。</p>	
<p>(その他資格など)</p> <p>資格、学位、専攻、受賞歴、論文、特許、知見や技術などを自由に記載してください。</p>	

(別添様式2)

プロジェクトチーム構成員の略歴等

(氏名)	(所属)
(所属している研究開発プラットフォーム)	
(役割分担(具体的に))	
(略歴)	
(実績)	
(その他資格など) 資格、学位、専攻、受賞歴、論文、特許、知見や技術などを自由に記載してください。	

(別添様式3)

令和〇年〇月〇日

農林水産技術会議事務局
筑波產学連携支援センター長 殿

推薦者
〇〇〇〇研究開発プラットフォーム
プロデューサー 〇〇 〇〇

推 薦 状

1 推薦を受ける者

氏名 〇〇 〇〇

役職 株式会社〇〇〇 〇〇

2 推薦の理由

〇〇氏については、・・・・・・・・・の理由から、事業の実施にあたり相応しい能力を持っている。

プロデューサーに代わって事業を実施する能力があることを記してください。